

刊行にあたって

～多様な生き物といつまでも共生するために～

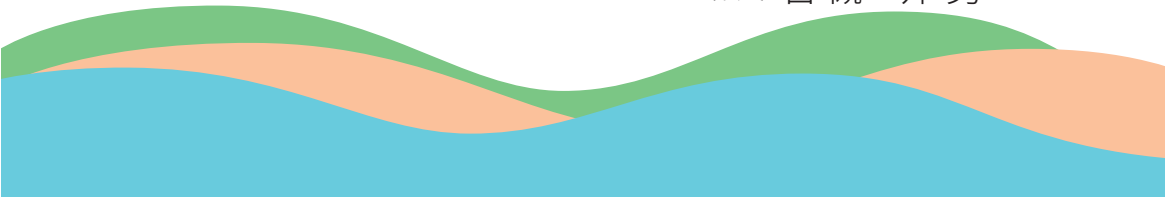
兵庫県では、全国に先駆けて生物多様性基本法の示唆に対応し、生物多様性ひょうご戦略が策定されました。この指針に基づいて、県も県民も一体となって、多様な生き物と共生し、健康で安全な生に溢れたひょうごを生き続けることが期待されています。

南北で海に面した兵庫県では、地域に生きる多様な生き物と共生する活動が展開されています。しかし、活動がそれぞれの主体ごとに個別に進められている面もあります。そこで、県下で進められている生物多様性に関わる活動を相互に紹介し、よりよい協働を育てることが必要と考え、そのための資料集をつくろうと呼びかけましたところ、141 団体から寄稿をいただきました。参加下さった団体は、市民団体、NPO 法人、一般社団法人、学校団体、企業、社会教育施設と多様で、活動の様態もさまざまです。皆様のご協力を得て、参加団体の活動が生き生きと描き出され、相互の情報交流の資とするだけでなく、兵庫県における生物多様性関連の活動の全体像を紹介するよい資料が出来上がりました。

2010 年は国連が定める国際生物多様性年です。わたしたちの生を維持する生物多様性との共生の構築のためには、すべての人が地球規模で考え、地域で活動することを必要とします。生物多様性年をきっかけに、地球のいのち、つないでいこうと呼びかける活動がより広くより深く展開するために、この冊子が活躍してくれることを期待します。

2010 年 9 月

兵庫県立人と自然の博物館
館長 岩槻 邦男



刊行にあたって

国際生物多様性年の意義ある年に、兵庫県の生物多様性をまもる様々な取組を紹介するこの冊子が、多くのみなさまのご協力のもと刊行に至りましたことを嬉しく思います。

この2010年、大きな注目を集めた出来事の一つに、小惑星探査機「はやぶさ」の帰還がありました。「はやぶさ」の大きな目的は太陽系の誕生と進化の手掛かりを、小惑星イトカワに探ることでした。多くの方が「はやぶさ」によって得られたイトカワの画像を目にされたことと思いますが、太陽を巡る無数の小さな天体が、衝突・合体をくり返しながら、やがて地球が形づくられ、生命の誕生と進化に至った、その長い道のりに思いを馳せるとき、豊かな水をたたえ、多様な生命を宿すこの惑星の姿を新しい感慨をもって受けとめることができるかもしれません。

生物多様性を含めて、環境の問題を考えるということは、どのような環境の中で暮らしてゆきたいかを考えることだと思います。その意味で、豊かな自然や多様な生き物と共に生きる喜びを、地域の人々が共有し伝えてゆく取組がとても大切です。兵庫県に暮らす市民の一人として、いろいろな立場の人々がつながりあいながら自然と生き物を見守り、またその営みが人々の心を豊かにするような地域の在り方を、そしてその中で、「科学」が、物質的豊かさをもたらす道具としての役割とは別に、自然と人が対話するための「ことば」として、輝きを取り戻すことを願っています。

2010年9月


ひょうごサイエンス・クロスオーバーネット
コーディネータ 伊藤 真之






刊行にあたって


兵庫県全域で活動するなかま	4
但馬地域を拠点に活動するなかま	26
丹波地域を拠点に活動するなかま	42
阪神地域を拠点に活動するなかま	62
神戸地域を拠点に活動するなかま	178
播磨地域を拠点に活動するなかま	226
淡路地域を拠点に活動するなかま	278
索引	286


ページ構成について

 本冊子にはさまざまな立場の活動団体が記事を寄せております。寄稿団体の性格がわかりやすくするため、以下のようなページの色分けを行っています。

-  市民団体、NPO、学校団体
-  企業
-  社会教育施設、研究機関



 地域の分類は、主な活動地の記述を参考にしています。複数にわたり幅広く活動されている団体については、主たる活動地を選んで表記しています。

 団体間で交流しやすくすることをねらい、連絡先の項目を設けております。ただし、公開可能な連絡先をもたない団体については空欄としています。

